

松原市議会 平成30年 第1回定例会 福祉文教委員会 一般質問

三重松 清子

Miematsu
通信

1. 松原市におけるネウボラの進捗状況について

問 ネウボラについては、公明党の提案で全国的に整備を推進。2017年4月1日現在、全市区町村の3割に当たる525市区町村で1,106カ所が設置。2018年度予算では、開設について、17年度比で50増の200カ所分を計上している。国において、2020年度末までの全国展開を目指しているが本市の進捗状況は

答 国において、平成32年度末までに全国展開を目指すとしている。本市においては平成31年4月を目標に準備を進めている。

問 平成31年4月スタートであれば、今年8・9月あたりには整備しておかないといけない。タイムスケジュールは

答 平成30年6月から7月ぐらいに大きな方向性を定めて、実施可能などから徐々に試行し、準備を進めていく。

問 出産後退院して、産褥期、生後1カ月くらいが大変な時期でしんどいお母さん方が多い。藤井寺市では、産後ヘルパー派遣事業を始めている。本市でも導入すべき

答 出産後間もない、特に1カ月ぐらいまでなかなか寝る間もない厳しい時期にどういう支援が出来るか検討していく。

問 本市の特性を考えたネウボラ実施に伴う機構改革を含めた協議を計画的に進めるべき

答 現在、母子保健部門担当の地域保健課と子育て支援部門担当の子ども未来室でワーキンググループを立ち上げ、平成29年8月から合計9回会議を開催。両課でスムーズにワンストップで切れ目のないサービスが出来るよう議論をしている。

要望 ・産後、産褥期しんどいお母さんがほっとできるような制度を
・他市も含めた産褥期に利用出来る施設の情報提供を
・妊娠届時の面接で個別状況を把握し、個別支援の拡充を

※ネウボラとは、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て包括支援制度や子育て包括支援センター(拠点)をいう



2. 学校での心肺蘇生教育の普及推進について

問 AEDは、平成16年に市民による使用が認められ設置が進んだ。本市においても、小・中学校、幼稚園等の公共施設やコンビニに設置されている。AED設置が屋内の職員室設置から屋外設置(体育館入口や玄関付近等)になった経過について

答 平成27年度に運動場や体育館を使用する地域のスポーツ団体など学校施設を利用する皆様に万一のことが発生した場合に迅速な対応を、AEDの使用ができるよう松原市赤十字奉仕団からの寄贈と本市補正予算で購入し、設置。

問 市内の設置場所は

答 小・中学校や公民館など63の公共施設と、市内コンビニエンスストア45店舗、合計108台を設置。

問 中学校での心肺蘇生やAEDの使用について

答 保健体育の授業で心肺蘇生並びにAEDのことについて学ぶ。数年前より消防本部出前授業で、中学校2年生全員を対象に心肺蘇生とAEDの使用方法等について学んでいる。

問 教職員の講習会は

答 年1回(5月末、6月前半)に各中学校区ごとに消防本部出前授業で心肺蘇生並びにAEDの講習会を実施。

問 中学校での受講は、いつごろから何人ぐらい受講しているのか。

答 平成26年4月から実施。毎年1,000人以上、4年間で4,500人が受講。

問 受講内容について

答 救急隊員から応急手当、AEDの重要性や基礎知識の説明後、訓練人形を2名で1体を使用した心肺蘇生法の訓練を実施。AEDの取り扱いについても訓練用のAEDを用いて説明後、簡易的なAEDを使い、全生徒に体験。時間は90分。

問 受講後の感想について

答 救命講習受講後に受講参加証を手にして、自覚が生まれた等前向きな意見が聞かれた。

問 講習時に市内AED設置場所の地図を配付すべき

答 AED配備事業を周知する機会となる。消防と連携し、前向きに検討する。

要望 ・AEDなるべく実物で訓練を(更新切れ器機等の活用)
(救命講習受講は、今後、生徒が市内コンビニ等でアルバイトをする機会があれば活かせる)

松原市議会 平成30年 第1回定例会 福祉文教委員会 一般質問

若林良信

Wakabayashi
通信

1. 保護司会への支援について

問 犯罪や非行のない明るい街を目指して、保護司会の方々は、地域の犯罪予防や啓発活動をしている中、担当者の方の就労先にも苦慮していると聞いている。就労の斡旋先の一つとし松原市での雇用は検討可能かどうかを質問しました。

答 対象の方が保護観察中などであれば難しいですが、例えば刑余者の方から就労の相談がありマッチングしていく中で就労先の一つとして、紹介し申し込みを行うことはさせて頂けると思います。



2. 発達障がい児の児童生徒への支援について

問 小中学校に在籍する発達障がい児の児童生徒への支援はどのように行われているか質問しました。

答 平成19年4月の学校教育法の改正により、すべての学校の通常学級においても支援教育を行うことが規定され、本市においても日々児童生徒に関わる教員の専門性の向上に努めてまいりました。すべての小中学校には、支援教育コーディネータという者がおり、校内での支援教育のまとめ役や保護者の不安や困りごとの窓口となっておりますので、まずは担任もしくはコーディネータにご相談をいただければ校内会議において議論をしていきます。いずれにしても、保護者が不安におもわれたことやわからないことは、学校に気軽に相談いただくことが第一歩であると思っております。



公明党 NEW KOMEITO

松原市議会ニュース

松原市議会公明党議員団

若林良信 / 三重松清子
中尾良作 / 河内徹
〒580-8501 松原市阿保1-1-1
電話 072-334-1550 (内線 2360)

平成30年度 予算要望に伴う実績 10項目

認定こども園事業

老朽化した幼稚園を統合し、幼保連携型認定こども園を市域南部に建設予定!!
平成30年度に園舎設計へ



防災士資格取得補助

防災士資格を取得した市民に対し、取得に要した費用の補助(受験料3,000円を除く費用57,920円を補助)



新図書館建設事業

子どもから高齢者まで幅広い世代がゆったり過ごせる憩いの図書館建設(平成31年度中の完成予定)



放課後学習等サポート事業

新たに天美公民館・三宅公民館でげんき塾の開校(市内計4カ所)



妊婦健康診査における公費助成の拡充

妊娠期の全14回の妊婦健康診査の助成額を120,000円へ(前年比+19,210円)



バリアフリー事業

平成30年度布忍駅・平成31年度高見ノ里駅構内エレベーターや多機能トイレの設置



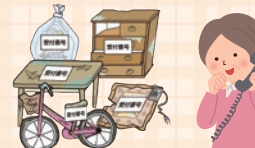
学校クラブ活動活性化推進事業

運動部に加えて、文化部の活性化、吹奏楽部の活性化を図るため、専門家を招いた演奏指導や模範演奏を実施



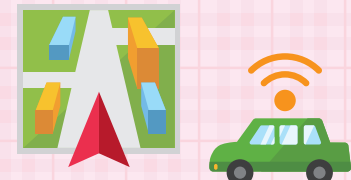
不燃物・粗大ごみ処理事業

不燃物・粗大ごみ電話申込時の固定電話の費用をフリーダイヤル化へ
フリーダイヤル 大ゴミ ヨヤク
0120-053-489 通話料無料



路面下空洞調査

道路陥没を未然に防ぐため空洞化調査を実施(車幅幅員2.5m.以上の約200kmを想定)



市政に関すること
などなんでも
お気軽に
ご相談ください。



若林 良信

三重松 清子

中尾 良作

河内 徹



問 平成 32 年 4 月から進められる第 5 次総合計画については、今後、未来を切り拓くもっとも重要な総合計画と考えられます。策定に向けた市のお考えを問う。



答 第 5 次総合計画における新たなまちづくりについては、セーフコミュニティの取組や子育て支援の取組をはじめ、本市が行ってきた市民の皆様との協働をさらに充実をさせ、市民の皆様に住んでみたい、住み続けたいと言っていただけの魅力あるまちづくりを推し進めたいと考えております。

問 学力向上の観点から見ても、勉学に集中できる体力と持続力をつける事が大事だと考えられますが市としてのお考えを問う。



答 体力向上の取組みについてマラソン大会やなわとび大会、ドッジボール等日常の遊びにも取組んでまいりました。幼稚園におきましてもシロマスポートの方にきていただき、体操の基礎を園児たちに教えていただいています。3 年前から全学年で態度教育に取組んでおり、全国学力・学習状況調査にも結果が表れています。今後も更なる体力向上と態度教育の充実を図ってまいります。

問 中学校給食で給食をおいしく提供している工夫及び、残菜率も減らす食育についての市としてのお考えを問う。



答 学校における食育につきましては、学習指導要領に位置づけられ、保健体育科、技術、家庭科、特別活動のカリキュラムの中で、担任や栄養教諭を中心にさまざまな取組が行われております。また、子ども達にとって一日の学校生活の中で最もホッとできる楽しみな時間でもあり、食事の時間確保に努めながらクラスみんなで食材や献立について語り、和やかな雰囲気の中で給食の時間を過ごすことにより、残菜の減少にもつながると考えております。

問 食育を含めた健康増進の取組み及び、高齢者の方がいつまでも元気に暮らしていける取組みについて市としてのお考えを問う。



答 出かける健康づくり応援講座や市政出前講座などで食育の講座を実施しております。食育 SAT システムを使い、食生活改善推進委員の協力も得て、これからの高齢者への食育指導の場も増やしていきたい。

問 新図書館建設にあたり現在の松原図書館・分館について、今後の在り方について問う。



答 松原南図書館であった新町公民館と松原南コミュニティセンターでは、げんき塾のほか地域の皆さんに使っていただける施設に生まれ変わっております。残りの分館についても、併設している施設や地域のニーズなどを踏まえながら市民のみなさんに喜んでいただけるようなものにしてまいりたいと考えております。

問 中央館として求められる機能の充実や、基本コンセプトから見た新図書館の内容について問う。



答 学習スペースの空間確保や、インターネット予約、IT 化、読書通帳なども検討し、わくわく感あふれる仕掛けづくりについて色々と研究し、子どもから元希者のみなさんに喜んでいただける図書館にしていきたいと思います。

問 道路台帳のベクトル化システム導入については様々な道路事情における業務の効率化が図れると思います。市としてのお考えを問う。



答 道路台帳のベクトル化について、現在管理している道路台帳の電子化と併せ、他のデータと統合することで、様々な情報の見える化が可能となるシステムを構築いたします。今後はこのシステムを幅広く活用し、市民サービスの向上を図ってまいります。

問 本市の道路空洞化による調査については、陥没事故を未然に防ぐための有効な手法と考えられますが、市としてのお考えを問う。



答 空洞化調査に用いるレーダー探査は、路面下に発生した空洞を察知するのに最も有効な手法と考えています。平成 30 年度は主要な道路より実施し、更なる道路の安全確保に努めてまいります。

問 若林・小川地域の生活環境整備、及び土地活用のこれからの本市の取組についてのお考えを問う。



答 平成 30 年度に都市計画道路若林小川線の工事を実施し、交通アクセスの充実や災害時の避難経路の確保等の生活環境整備を行い、地域の活性化や利便性の充実を図ってまいります。

問 高見ノ里・布忍駅の整備、及び松原市新バリアフリー基本構想に基づき、駅をはじめその周辺地域における整備について市としてのお考えを問う。



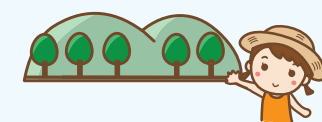
答 高見ノ里駅は平成 31 年度、布忍駅については平成 30 年度の工事を実施する予定となっております。平成 32 年度完成予定より 1 年短縮し、エレベーター設置による市内 4 駅すべてバリアフリー化が早期に完成する予定です。

問 市民プールの現状運営及び、年間を通し、市民ニーズを踏まえた市民プールの今後の方向性について問う。



答 開設してから 30 年以上が経過し、施設の老朽化も進んでいるところから、切れ目のない継続的な事業を行うため、現在、必要な改修工事を実施しております。今後の市民プールのあり方につきましては、市民ニーズを踏まえ、様々な視点から調査研究をしてまいります。

問 クリエイト月ヶ瀬は、松原市少年自然の家として松原市民に愛されている施設として定着されていますが、更なる利用促進について、市としてのお考えを問う。



答 平成 23 年度より指定管理者制度を導入して以来、大幅に増加しておりますが、さらに利用を促進するために子育て応援ポイント事業や介護予防支援きらり活動事業との連携、松原市内各団体に PR のほか、魅力あるプログラムの提供に努めております。今後も指定管理者と協議を行いながら、利用者サービスの向上を図り、効率的・効果的な施設運営に努めてまいります。

◇中小企業の生産性向上のための支援策について



設備投資の促進を図り、税制改正「設備投資に係る新たな固定資産税特例」設備投資や労働生産性、固定資産税を 0 にする取組について、市内の業者の方が制度を最大に活用できるよう周知の徹底をお願いしました。

支持者の皆様、公明党に日々真心のご支持・ご支援を頂き心よりお礼申し上げます。

副議長の指名を頂き半年が過ぎました。この間、松原市の多くの識者の方々とお会いさせて頂き、懇談を通し公明党の一層のご理解を深めさせて頂いております。4 月現在市の行事等でのご挨拶は 20 会場を超えました。また、市民の皆様と行政、関係機関等が協働で進めているセーフコミュニティも町会・連合町会に広く浸透しており地域に根ざす為、道路補修・カーブミラー設置等のハード面は地域性もありますが町会役員さんと共に解決させて頂いております。これからも「大衆とともに」との立党精神のもと、市民の皆様と共に、頑張りますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



最近の実績



松原市の子ども達に何かで喜んで頂きたいと昨年末に大阪府立花の文化園イルミネーション事業とご縁があり松原市の小学校 15 校 5,564 名の児童生徒の皆さんに－イルミネーション ZOO－のご招待券を配布させて頂きました。好評でしたので、今年の年末もご招待券を頂けますよう頑張ります。

大阪府立花の文化園イルミネーション
(光輝く LED 約 300 万球)

■奥河内イルミネージュ
－イルミネーション ZOO－ 開催！
開催期間：2017 年 12 月 15 日（金）
～ 2018 年 3 月 4 日（日）
開催時間：17 時 30 分～21 時 30 分

